PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

01-113579

(43)Date of publication of application: 02.05.1989

(51)Int.CI.

F03D 11/00 F16C 19/34

F16C 35/07

(21)Application number: 63-239894

(71)Applicant: MAN TECHNOL GMBH

(22)Date of filing:

27.09.1988

(72)Inventor: GERSTER JOSEF

(30)Priority

Priority number: 87 3732730

Priority date : 29.09.1987

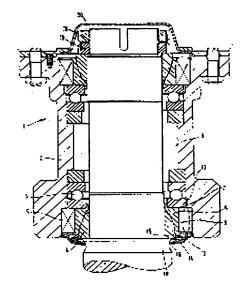
Priority country: DE

(54) JOURNAL BEARING DEVICE FOR ROTARY BLADES OF WIND GENERATOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a device having excellent durability with respect to rotary blade load by constituting a plurality of bearing units supporting a blade support flange with several particular bearings, and arranging an non-rotary race unit.

CONSTITUTION: A blade support flange 2 of a journal bearing device 1 is supported by a boss 3 via a plurality of bearing units spaced apart. In this case, each bearing unit comprises a skew joint bearing 4, a needle or cylindrical roller bearing 5 placed above the skew joint bearing 4, and a thrust bearing 6 arranged to the side of these two bearings 4, 5. A non-rotary race unit 7 comprises an external race 8 of the skew joint bearing 4, an internal race 9 of the needle or cylindrical roller bearing 5 and a shaft race 10 of the thrust bearing 6. The bearing units are fastened with each other by a plurality of shaft nuts 19 via the blade support flange 2 and the boss 3.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

印特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

平1-113579

@Int_Cl_4

の発明者・

識別記号

厅内整理番号

❸公開 平成1年(1989)5月2日

F 03 D 11/00 F 16 C 19/34 35/07 8409-3H 6718-3J

8814-3J

」 審査請求 有 請求項の数 4 (全4頁)

9発明の名称風力装置の回転羽根用のジャーナル支承装置

②特 願 昭63-239894

②出 願 昭63(1988) 9月27日

優先権主張 ●1987年9月29日 ●西ドイツ(DE) ●P3732730.5

ドイツ連邦共和国グレーベンツエル・エシエンリーダー・

シュトラーセ 1 .

⑪出 顋 人 エム・アー・エヌ・テ

ドイツ連邦共和国ミユンヘン50・ダツハアウエル・シユト

ヒノロギー・ゲゼルシ ラー

ラーセ 667

ヤフト・ミツト・ベシ ユレンクテル・ハフツ

ヨーゼフ・ゲルスター

ング

邳代 理 人 弁理士 矢野 敏雄 外1名

用細 雪

1 発明の名称

風力装置の回転羽根用の ジャーナル支承装置

- 2 特許請求の範囲
 - 1. 羽根支承フランジに取付けられたロータを 有する風力装置の回転羽根用のジャーナル支 承装置であつて、羽根支承フランジが軸方向 および半径方向で支持作用を有するころがり 軸受けを介して回転可能に定置のポスに支持 されている形式のものにおいて、間隔をおい て配置された2つの軸受け複合体が設けられ ていて、放軸受け複合体が旋回軸受け(4) と、この旋回軸受けの上方に配置されたニー ドル又は円筒ころ軸受け(5)と、両軸受け の側方に配置された垂直方向の力を吸収する スラスト軸受け(6)とから構成されていて かつ回転不能なレースユニット(7)を有し ていて、該レースユニットが旋回軸受けの外 レース(8)と、ニードル又は円筒ころ軸受 けの内レース(9)と、スラスト軸受けの軸

レース(10)とから成つていて、これら樽 成部分が2つの平面内で接触していてかつ互 いに締付け固定されていることを特徴とする、 風力装置の回転羽根用のジャーナル支承装置。 羽根支承フランジに取付けられたロータを 有する風力装置の回転羽根用のジャーナル支 承装置であつて、羽根支承フランジが軸方向 および半径方向で支持作用を有するころがり 軸受けを介して回転可能に定置のポスに支持 されている形式のものにおいて、間隔をおい て配置された2つの軸受け複合体が設けられ ていて、該軸受け複合体が旋回軸受け(4) と、この旋回軸受けの上方に配置された内レ ースのないニードル又は円筒ころ軸受け(1 1)と、旋回軸受けの外レースの倒方に配置 された内レースのないニードルころ軸受け(12)とから構成されていて、旋回軸受けの 外レース(8)が回転不能であることを特徴 とする、風力装置の回転羽根用のジャーナル

支承装置。

- 5. 旋回軸受け(4)がファイバー・グライド (FIBER-GLIDE)によつて被覆されている請 求項1項又は2項記載のジャーナル支承装置。
- 3 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、羽根支承フランジに取付けられたロータを有する風力装置の回転羽根用のジャーナル支承装置であつて、羽根支承フランジが軸方向および半径方向で支持作用を有するころが

発明が解決しようとする問題点

本発明の課題は、風力装置の回転羽根による 固有の負荷に対して精度的に勝れた、耐用寿命 の長いジャーナル支承装置を提供することにあ

問題点を解決するための手段

発明の作用効果

り軸受けを介して回転可能に定置のポスに支持 されている形式のものに関する。

従来の技術

軸方向および半径方向の力を吸収するとのよ うな支承形式は、従来では機械工学において一 般的であるように、円錐とろ軸受けを使用する ことによつて実施された。支承茲置の優良性お よび耐用寿命が取付け精度および著しく微妙な 調節精度関連しているこのような支承形式に固 有の欠点の他に、ポスのたわみに基づいて内側 の軸受けの外レースのずれ運動が生ずるという ことが明らかとなつた。円錐とろ軸受けの外レ ースのとのような運動は許容できない。それと いうのもレースに沿つた転動体の不変な転動運 動は行なわれず、むしろこの転動運動にはずれ 運動成分が関与するからである。このようにし て軸受けに機能を損なわせる故障、特に冷間負 裂現象によつて内レースに着しい転動とん跡が 生じ、これによつて軸受けひいては支承装置は 比較的短時間使用した後で最早機能しなくなる。

ユニットを得ることができる。

客施例

第1図では羽根支承フランジ2に取付けられたロータ(図示せず)を有する風力装置の回転羽根用のジャーナル支承装置1を図示している。羽根支承フランジ2は間隔をおいて配置された2つの軸受け複合体を介してポス3に支持されている。前記軸受け複合体は旋回軸受けよと、この旋回軸受けの上方に配置されたニードル又

て調育作用を保証するグリス収容室を形成する。 第2図では本発明によるツヤーナル支承装置 の別の構成を示している。このばあい軸受け複 合体は旋回軸受け4と、この旋回軸受けの上方 **化配置された、内レースのないニードル又は円 篩とろ軸受け11と、旋回軸受けの外レース8** の側方に配置された、内レースのないニードル ころ軸受け12とから構成されている。回転不 能なユニットは旋回軸受けの外レースが成す。 羽根支承フランジ2の下端には、ニードルころ 軸受け11に対して押付けられて、カパー13 が配置されていて、このカバーの内操はシール 14によつて取囲されている。シール14のシ ールリップ15はポス3のつばと旋回軸受け4 との間に配置された中間リングにかつシールリ ップ18はポスの隣18内に接触している。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明による ジャーナル支承装置の 断面図、第2図は本発明による ジャーナル支承 装置の別の構成の断面図である。

羽根支承フランジ2の下端には、ニードル又は円筒とろ軸受け5に対して押付けられて、カパー13が配置されていて、このカバーの内は セール14によつて取囲まれている。シール14のシールリップ15,16は旋回軸受け4の内レースの自由端部におよびポス3の薄18内に接触していては下側の軸受け複合体をほこりの侵入から防護しかつ耐用寿命に亘

1 ··· ジャーナル支承装置、2 ··· 羽根支承フランジ、3 ··· ポス、4 ··· 旋回軸受け、5 , 1 1 ··· ニードル又は円筒とろ軸受け、6 ··· スラスト軸受け、7 ··· レースユニット、8 ··· 外レース、9 ··· 内レース、10 ··· 軸レース、12 ··· ニードルとろ軸受け、13 ··· カバー、14 ··· シール、15 , 16 ··· シールリップ、17 ··· 中間リング、18 ··· 構、19 ··· 軸ナット、20 ··· キャップ

代 理 人 弁理士 矢 野 敏



特開平1-113579 (4)

